

令和 7 年度

北海道網走南ヶ丘高等学校

定時制課程普通科

第 3 学年

年間指導計画・評価計画

- 1 国語科「国語表現」
- 2 地歴公民科「歴史総合」
- 3 数学科「数学 A」
- 4 理 科「生物基礎」
- 5 保健体育科「体育」
- 6 外国語科「論理・表現」
- 7 商業科「課題研究」

北海道網走南ヶ丘高等学校 定時制

[illegible]

令和7年度 年間指導計画・評価計画

北海道網走南ヶ丘高等学校 定時制

教科	科目	単位数	学年	教科書(出版社)	副教科等	担当者
地歴	歴史総合	2単位	3学年	山川出版社		中野 克彦

科目名に○の付した科目は、学校設定科目です。

【身に付けて欲しい力】	歴史が現代社会の動きにつながっていることを理解する
【学習の留意点】	・ パワーポイントや録画資料などを提示するためプロジェクター等のICT機器を使用する。 ・ プロント(ノート)を毎回回収し、フィードバックする。 ・ 授業のユニバーサルデザイン化を基盤とした授業を行う。→キャリア学習の一環として地元企業から網走で産業や仕事で定着した歴史的過程などを伺

【評価の観点とその主な目標】

※評価を行う時は、単元、授業の間に「どのような力を求めるか? (基準)」と「どのようなレベルを求めるか? (規準)」を説明します。

評価の規準(どのようなレベルを求めるか?)	評価A 十分満足できる状況 評価B 概ね満足できる状況 評価C 努力を要する状況
-----------------------	--

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
知識	近現代の歴史の変化に関する諸事象について、世界とその他の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解する。 技能: 諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめ、その技能を身に付けるようにする。	近現代の歴史の変化に関する事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	近現代の歴史の変化に関する諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して認識される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

※評価の「観点」については、適宜各教科の指導要領に合わせて変更して下さい。

大単元	小単元	次	課題(○) (学習の問いかけ)	実地内容・目標	評価の方法	知	思	主	学習目標	振り返り・次年度に向け
近代化と私たち	18Cの世界とアジア	1	18世紀のアジアは、経済や文化が発達していた。こうした状況は、ヨーロッパにどのような影響を与えたのだろうか?	18世紀のアジアにおける経済や文化の発達と同時代のヨーロッパ諸国の対外進出との関係について考察する。	学習プリント(ノート) 前時の復習テスト	○	○	○		
	産業革命	2	産業革命によって、環境を用いた大量生産が可能となった。このことは、社会や生活をどのように変えたのだろうか?	産業革命がイギリスにおける綿工業を中心とした技術革新から始まったことを理解する。	学習プリント(ノート) 前時の復習テスト	○	○	○		
	日本の開国	3	19世紀後半に開国し、貿易を開始した日本。欧米諸国と条約を結んだが、それはどのような内容だったのだろうか?	ペリー来航の背景とそれに対する江戸幕府の対応を理解する。	学習プリント(ノート) 前時の復習テスト	○	○	○		
	市民革命と国民統合	4	市民革命を通じて、「自由」「平等」という考えが広がった。このことは、世界にどのような影響を与えたのだろうか?	18世紀後半以降の欧米諸国で市民革命がおこった背景について考察し、理解する。	学習プリント(ノート) 前時の復習テスト	○	○	○		
	明治維新	5	王政復古の号令で新政府を樹立した日本。新政府は、どのように新国家を建設しようとしたのだろうか?	江戸幕府の滅亡から明治政府成立の過程を理解する。	学習プリント(ノート) 前時の復習テスト	○	○	○		
	富国強兵と文明開化	6	欧米諸国と対等な関係を築くことをめざした日本。欧米諸国に追いつくために、どのようなことに取り組んだのだろうか?	明治政府の進めた富国強兵の具体的な内容を理解する。	学習プリント(ノート) 前時の復習テスト	○	○	○		
	帝国主義	7	帝国主義の時代、列強は様々な地域を植民地とした。この過程で欧米諸国の関係は、どのように変化したのだろうか?	帝国主義時代における世界分割の特徴や列強間の国際関係の再編を考察し、理解する。	学習プリント(ノート) 前時の復習テスト	○	○	○		
	日露戦争と韓国併合	8	日露戦争で日本の勝利は、世界を驚かせた。この勝利は、アジアにどのような影響を与えたのだろうか?	日露戦争の勝利がアジア諸地域に与えた影響について、中国を具体的な事例として考察し、理解する。	学習プリント(ノート) 前時の復習テスト	○	○	○		
国際秩序の変化や大衆化と私たち	第一次世界大戦	9	ヨーロッパで始まった第一次世界大戦。日本には、どのような影響があったのだろうか?	第一次世界大戦の開始から終結までの経過を理解する。	学習プリント(ノート) 前時の復習テスト	○	○	○		
	ロシア革命とその影響	10	ロシア革命によって、世界初の社会主義政権が誕生した。このことは、世界にどのような影響を与えたのだろうか?	ロシア革命がおきた原因と革命の経過について考察し、理解する。	学習プリント(ノート) 前時の復習テスト	○	○	○		
	大量生産・大量消費社会	11	第一次世界大戦後、大量生産・大量消費社会が到来した。この時代には、どのようなものや文化が広がったのだろうか?	第一次世界大戦後におけるアメリカ合衆国の経済的繁栄が大量生産・大量消費社会を生み出したことを理解する。	学習プリント(ノート) 前時の復習テスト	○	○	○		
	世界恐慌	12	1929年、アメリカで恐慌がおこった。その結果、各国では、どのようなことがおこったのだろうか?	世界恐慌がおきた原因とその後の各国の対応について考察し、理解する。	学習プリント(ノート) 前時の復習テスト	○	○	○		
	独裁勢力の台頭	13	ドイツではナチ党が政権をとり、ヴェルサイユ体制を破壊していった。なぜナチ党は人々の支持を集めたのだろうか?	第一次世界大戦後のヨーロッパでファシズムと呼ばれる政治体制が成立した原因とその特徴について考察し、理解する。	学習プリント(ノート) 前時の復習テスト	○	○	○		
	第二次世界大戦	14	2度目の世界大戦が始まった。この戦争は、第一次世界大戦と比べると、どのような特徴をもっていたのだろうか?	第二次世界大戦のおきた原因をドイツの領土拡大と関連付けて理解する。	学習プリント(ノート) 前時の復習テスト	○	○	○		
	戦後国際秩序	15	第二次世界大戦は、かつてない犠牲を生んだ。戦争を繰り返さないよう、人々はどのような体制をつくったのだろうか?	国際連合とブレトンウッズ国際経済体制による戦後秩序の特徴を理解する。	学習プリント(ノート) 前時の復習テスト	○	○	○		

令和7年度 年間指導計画・評価計画

北海道網走南ヶ丘高等学校 定時制

教科	科目	単位数	実施学年	教科書(出版社)	副教科等	担当
地理	歴史総合	2単位	3学年	山川出版社		中野 克彦

科目名に○の付した科目は、学校設定科目です。

【身に付けて欲しい力】	歴史が現代社会の動きにつながっていることを理解する
【学習の留意点】	・ パワーポイントや映像資料などを提示するためプロジェクター等のICT機器を使用する。 ・ プロット(ノート)を毎回回収し、フィードバックする。 ・ 授業のユニバーサルデザイン化を意識した授業を行う。・キャリア学習の一環として地元企業から網走で産業や仕事で定着した歴史的過程などを伺

【評価の観点とその主な目標】

※評価を行う時は、単元、授業の前に「どのような力を求めるか? (基準)」「どのようなレベルを求めるか? (規準)」を説明します。

評価の規準(どのようなレベルを求めるか?)	評価A 十分満足できる状況 評価B 概ね満足できる状況 評価C 努力を要する状況
-----------------------	---

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	知識:近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界と其中的日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解する。 技能:諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べとめる技能を身に付けるようにする。	近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意図、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

※評価の「観点」については、海苔各教科の指導要領に合わせて変更して下さい。

大単元	小単元	次	課題(○)(学習の問いかけ)	実施内容・目標	評価の方法	知	思	主	実施日(環り取り・改年度にかけ)
	冷戦の始まり	16	第二次世界大戦後は、資本主義国と社会主義国が対立する時代となった。なぜ、この対立が生じたのだろうか?	ヨーロッパにおける冷戦開始の背景とその後の東西陣営の動向について考察し、理解する。	学習プリント(ノート) 前時の復習テスト	○	○	○	
グローバル化と私たち	第三世界の登場	17	第二次世界大戦後の世界では、アジア・アフリカ諸国が連帯する動きがみられた。その理由は何だろうか?	第二次世界大戦後におけるアジア諸地域の独立過程を理解する。	学習プリント(ノート) 前時の復習テスト	○	○	○	
	高度経済成長の光と影	18	1950年代後半から1980年代、日本経済は急速に成長した。この時期、日本ではどのようなことが起こったのだろうか?	高度経済成長による日本の人々の生活様式や意識の変化を考察する。	学習プリント(ノート) 前時の復習テスト	○	○	○	
	ベトナム戦争とアメリカ	19	冷戦最大の武力衝突といわれるベトナム戦争。この戦争は世界に、どのような影響を与えたのだろうか?	アメリカ国内の公民権運動とベトナム反戦運動が運動していたことを理解する。	学習プリント(ノート) 前時の復習テスト	○	○	○	
	経済構造の変化	20	1970年代、資本主義世界の経済は様々な変化を経験した。それは、どのような変化だったのだろうか?	第1次石油危機の背景と影響を考察し、理解する。	学習プリント(ノート) 前時の復習テスト	○	○	○	
	日本の経済大国化	21	経済大国となった日本。このことは、日本と諸外国との関係にどのような影響をもたらしたのだろうか?	日本が安定成長の時代に経済大国化した過程を理解する。	学習プリント(ノート) 前時の復習テスト	○	○	○	
	冷戦の終結	22	冷戦は、1980年代末から1990年代にかけて終結した。どのようなことが、冷戦の終結につながったのだろうか?	ゴルバチョフの改革と東ヨーロッパ諸国の民主化の運動を考察し、理解する。	学習プリント(ノート) 前時の復習テスト	○	○	○	
	現代世界の諸課題	23	現在の世界には、どのような課題があるのだろうか?	現代世界の諸課題と解決に向けての方策について考察し、理解する。	学習プリント(ノート) 前時の復習テスト	○	○	○	
テーマ学習 中国古典文明に学ぶ普遍的価値観		24	中国群雄割拠の時代において現代にも通ずる普遍的価値(友情・正義・孝・徳など)の道徳的価値を学ぶ	道徳教育の観点から中国古典王朝の成道を巡って諸子百家の思想や普遍的な価値観を考察し、理解する。	学習プリント(ノート) 前時の復習テスト	○	○	○	
		25							
		26							
		27							
		28							
		29							
		30							

令和7年度 年間指導計画・評価計画

北海道網走南ヶ丘高等学校 定時制

教科	科目	単位数	実施学年	教科書(出版社)	副教材等	担当者
数学	数学A	3単位	3学年	高校数学A(数教出版)	ステップノート数学A新訂版	石川 桃

科目名に○の付した科目は、学校設定科目です。

【身に付けて欲しい力】	数学的活動を通して、基礎基本の定着を目指し、数学に対する興味・関心を高めて欲しい。
【学習の留意点】	・意欲的に学習に取り組もうとする態度を特に評価します。 ・基礎的知識、論理的思考を身に付けようとする態度で取り組んで下さい。

【評価の観点とその主な目標】

※評価を行う時は、単元、授業の前に「どのような力を求めるか? (基準)」と「どのようなレベルを求めるか? (規準)」を説明します。

評価の規準(どのようなレベルを求めるか?)	評価A 授業の目標に対して十分に満足できる状況 評価B 授業の目標に対して概ね満足できる状況(標準) 評価C 授業の目標に対して到達度が不十分で努力を要する状況
-----------------------	--

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	場合の数と確率、整数や図形の性質についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。	数学的な事象について多面的に考え、他の事象との相互関係に着目し、適切に表現できる力が身に付いている。	数学のよさを認識し、日常生活や社会生活に活用しようとして、粘り強く考え、数学的論理に基づいて判断しようとして、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善しようとして、いる。

※評価の「観点」については、適宜各教科の指導要領に合わせて変更して下さい。

大単元	小単元	次	課題 (Q)(今時の問いかけ)	実施内容・目標	評価の方法	知	思	主	実施日	振り返り・次年度に向け
	オリエンテーション									
1章 場合の数と確率	1節 場合の数 集合と要素①	1	集合と要素ってなに?	集合と要素、部分集合について理解を深める。	発問 行動観察 プリント			○		
	集合と要素②	2	集合にはどんな種類があるのだろうか。	全体集合、補集合、共通部分、和集合、空集合について理解を深め、問題に取り組む。	発問 行動観察 プリント	○				
	集合と要素③	3	和集合の要素の個数はどのようにもとめればいいのか。	集合の要素の個数について求め方の原理について理解し、問題に取り組む。	発問 行動観察 プリント	○				
	和の法則と積の法則	4	和集合の要素の個数はどのようにもとめればいいのか。	集合の要素の個数について求め方の原理について理解し、問題に取り組む。	発問 行動観察 プリント		○			
	順列①	5	順列ってなに?	順列について理解を深め、ある事象の順列の総数を求める。	発問 行動観察 プリント			○		
	順列②	6	階乗ってなに?	順列の階乗を用いて、順列の総数を求める。	発問 行動観察 プリント	○				
	順列③	7	順列を求めるときに条件が付いた場合はどのように求めればいいのか。	条件付き順列の考え方を理解し、問題に取り組む。	発問 行動観察 プリント		○			
	順列④	8	円に並んでる場合はどのように求めればいいのか。	円順列の考え方を理解し、問題に取り組む。	発問 行動観察 プリント		○			
	順列⑤	9	同じモノを繰り返し用いてもいい場合はどのように求めればいいのか。	重複順列の考え方を理解し、問題に取り組む。	発問 行動観察 プリント	○				
	順列応用①	10	文字や数字のカードを用いた順列はどのように求めればいいのか。	順列の応用問題についての解き方を理解し、処理する。	発問 行動観察 プリント			○		
	順列応用②	11	円順列と条件付き順列が合わさった問題は、どのように考えて解けばいいのか。	順列の応用問題についての解き方を理解し、処理する。	発問 行動観察 プリント			○		
	確認テスト	12	確認テスト		テスト	○	○	○		

大単元	小単元	次	課題 (Q)(今時の問いかけ)	実施内容・目標	評価の方法	知	思	主	実施日	振り返り・次年度に向け
1章 場合の数と確率	組合せ①	13	組合せは順列の連いつてなに?	組合せについて理解を深め、ある事象の組合せの総数を求める。	発問 行動観察 プリント			○		
	組合せ②	14	組合せの文章問題はどのように考えればいいのか。	文章を読み解き、組合せの文章問題を適切に処理することができる。	発問 行動観察 プリント	○				
	組合せ③	15	組合せの数が多い場合はどのように計算すればいいのか。	組合せの計算の仕方を工夫し、適切に処理することができる。	発問 行動観察 プリント			○		
	組合せ④	16	最短経路を計算して求める場合は、どのように考えればいいのか。	最短経路の求め方について考え、問題を適切に処理する。	発問 行動観察 プリント		○			

不定方程式②	40	$Ox + \Delta y = 1$ の解を求めてみよう。	不定方程式 $Ox + \Delta y = 1$ の解を求めることができる。	発問 行動観察 プリント			○		
不定方程式③	41	x と y の係数が大きい不定方程式はどのように解けばいいの？	互除法を用いて不定方程式を解くことができる。	発問 行動観察 プリント			○		
3節 整数の性質の活用 2進法の仕組み①	42	いろいろな数の数え方について知ろう。	2進法について理解し、10進法を10進法を用いて表すことができる。	発問 行動観察 プリント		○			
2進法の仕組み②	43	2進法ってなに？①	2進法について理解し、2進法を10進法に直すことができる。	発問 行動観察 プリント		○			
2進法の仕組み③	44	2進法ってなに？②	2進法について理解し、10進法を2進法に直すことができる。	発問 行動観察 プリント		○			
2進法の仕組み④	45	2進法の足し算、引き算は10進法と一緒？	2進法の足し算、引き算の計算の仕方について理解し、式を計算することができる。	発問 行動観察 プリント		○			
分数と小数①	46	小数の種類は何種類あるの？	有限小数、無限小数、循環小数、非循環小数について理解し、分数を小数に直すことができる。	発問 行動観察 プリント			○		
分数と小数②	47	この分数は有限小数？それとも循環小数？	分数から、有限小数になるか、循環小数になるかを分母を見て判断することができる。	発問 行動観察 プリント		○			
分数と小数③	48	どうやって小数を分数に表す？	分母を10倍、100倍等をして小数を分数に表すことができる。	発問 行動観察 プリント		○			
分数と小数④	49	循環小数を分数に変換しよう。	循環小数を分数に変換することができる。	発問 行動観察 プリント			○		
確認テスト	50	確認テスト		テスト		○	○	○	

大単元	小単元	次	課題 (Q) (今時の問いかけ)	実施内容・目標	評価の方法	知	思	主	実施日	振り返り・次年度に向け
3章 図形の性質	1節 作図	51	垂直2等分線、垂直線、角の2等分線、平行線、線分の3等分はどうやったらできるの？	コンパスを用いて垂直2等分線、垂直線、角の2等分線、平行線、線分の3等分の作図のやり方を理解する。	発問 プリント			○		
	2節 三角形の性質 三角形の角	52	三角形の内角は全部足すと何度になるの？ 三角形の外角にはどんな性質があるの？	三角形の内角、外角の性質について理解し、図形の角度を求めることができる。	発問 プリント			○		
	三角形と線分の比①	53	平行線の線分の比はどのようにになっているの？	三角形の線分の比について理解する。	発問 プリント	○				
	三角形と線分の比②	54	中点連結定理ってなに？	中点連結定理について仕組みを理解し、三角形の線分の長さを求めることができる。	発問 プリント		○			
	三角形と線分の比③	55	角の2等分線と線分の比はどのようにになっているの？	角の2等分線と線分の比について仕組みを理解し、三角形の線分の長さを求めることができる。	発問 プリント	○				
	三角形の外心・内心・重心①	56	外心、外接円ってなに？ 内心、内接円ってなに？	三角形の外心、外接円、内心、内接円の性質を理解する。	発問 プリント	○				
	三角形の外心・内心・重心②	57	重心ってなに？	三角形の重心について理解し、三角形の線分の長さを求めることができる。	発問 プリント		○	○		
	3節 円の性質 円周角	58	円周角の定理ってなに？	円周角の定理を用いて角度を求めることができる。	発問 プリント			○		
	円と四角形	59	円に内接する四角形にはどのような性質があるの？	円に内接する四角形の性質を理解し、角度を求めたり、四角形が円に内接するかどうか判断することができる。	発問 プリント	○				
	円と接線①	60	接線と弦のつくる角度はどうやって求めることができるだろうか。	接線と弦のつくる角について性質を理解し、角度を求めることができる。	発問 プリント		○			
	円と接線②	61	円と接線にはどのような性質があるの？	円の接線の長さについて、性質を理解し、三角形の辺の長さを求めることができる。	発問 プリント	○				
	方べきの定理①		方べきの定理ってなに？①	方べきの定理について理解し、線分の長さを求めることができる。	発問 プリント					

	62		る。			○		
2つの円	63	2つの円の位置関係について調べてみよう。	2つの円の位置関係について理解する。	発問 プリント			○	
4節 空間図形 空間における直線と平面①	64	空間における直線や平面について、その位置関係はどのようなになっているのだろうか。①	空間における平面の決定や、2つの直線の位置関係について理解する。	発問 プリント			○	
空間における直線と平面②	65	空間における直線や平面について、その位置関係はどのようなになっているのだろうか。②	空間における2つの平面の位置関係について理解する。	発問 プリント			○	
空間における直線と平面③	66	空間における直線や平面について、その位置関係はどのようなになっているのだろうか。③	空間における直線と平面の位置関係について理解する。	発問 プリント	○			
課題学習	67	多面体の頂点の数や辺の数、面の数はどうなっているだろうか？	正多面体の種類を知る。また、それぞれの頂点、辺、面の数を知り、3つの関係性について理解する。	発問 プリント			○	
確認テスト	68	確認テスト		テスト	○	○	○	

令和7年度 年間指導計画・評価計画

北海道網走南ヶ丘高等学校 定時制

教科	科目	単位数	実施学年	教科書(出版社)	副教科等	担当者
理科	生物基礎	2単位	3学年	改定 新編生物基礎(東京書籍)	各種補助資料(印刷物)	齊藤真志

科目名に○の付した科目は、学校設定科目です。

【身に付けて欲しい力】	科学的な見方や考え方を養い、科学に対する興味・関心を高めて欲しい。
【学習の留意点】	・意欲的に学習に取り組もうとする態度を特に評価します。 ・基礎的知識、論理的思考を身に付けようとする態度で取り組んで下さい

【評価の観点とその主な目標】	
※評価を行う時は、単元、授業の間に「どのような力を求めるか? (基準)」/「どのようなレベルを求めるか? (規準)」を説明します。	
評価の規準(どのようなレベルを求めるか?)	評価A 十分満足できる状況 評価B 概ね満足できる状況 評価C 努力を要する状況

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	自然の事物・現象について授業を通して理解し、知識や技能を身につけている。	事象を科学的に観察し、導き出した考えを的確に表現しようとしている。もしくは表現できている。	自然の事物・現象に関心をもち、科学的な見方や考え方を身につけようとしている。

※評価の「観点」については、適宜各教科の指導要領に合わせて変更して下さい。

大単元	小単元	次	課題(Q)(今時の問いかけ)	実施内容・目標	評価の方法	知	思	主	実施日(振り返り・次年度に向け)
1編 1章 生物の多様性と共通性	A 細胞の特徴	1	細胞小器官ってどんな働きをしているの? 何のためにあるの?	細胞小器官の名称や働きについて学ぶ。	ノート プリント テスト	○			
	B 生物の多様性・共通性	2	顕微鏡を使って色々な生物を観察しよう。	顕微鏡を用いた観察方法やスケッチの方法を学ぶ。	プリント			○	
2章 生物とエネルギー	A 生体とATP	3	ATPって何?	ATPの構造や働きについて学ぶ。	ノート プリント テスト	○			
	B 呼吸と光合成	4	何で息してるの? 酸素は何に使うの?	呼吸と光合成のしくみについて理解し、植物や動物の係わりについて学ぶ。	ノート プリント テスト	○	○		
	C 酵素のはたらき	5	酵素って何? 肉を柔らかくするにはどうすればいい?	酵素の働きと性質について学ぶ。	ノート プリント テスト		○	○	
2編 1章 遺伝情報とDNA	A DNAの構造	6	DNAってどんな形をしている?	DNAの構造について学ぶ。	ノート プリント テスト	○		○	
	B DNAの複製と分配	7	PCR反応ってどんな反応?	DNAの複製過程について学ぶ。	ノート プリント テスト	○			
2章 遺伝情報とタンパク質の合成	タンパク質と遺伝情報	8	どうやって身体はつくられる?	転写や翻訳のしくみについて学ぶ。	ノート プリント テスト	○	○		
3編 1章 ヒトの体を調節するしくみ	A 体内環境	9	動脈と静脈って何が違うの?	血液の循環や体内の様々な臓器について学ぶ。	ノート プリント テスト	○	○		
	B 体内の情報伝達	10	死んだ生物でも動かすことができる? ヒトの感情や気持ちはどうやって生まれる?	神経の働きやホルモンの働きについて学ぶ。	ノート プリント テスト	○	○	○	
	C 血糖濃度の調節	11	糖尿病ってどんな病気?	血糖値の調節方法を学び、糖尿病になる原因について考える。	ノート プリント テスト	○	○		
2章 免疫のはたらき	免疫のしくみ	12	どうやってウイルスや細菌をやっつける?	自然免疫や獲得免疫のしくみについて学び、ウイルスや細菌に対してどのような免疫が有効かを考える。	ノート プリント テスト	○	○		
4編 1章 植生と遷移	A 身のまわりの植生と遷移	13	空き地はなぜすぐに森になるの?	乾性の一次遷移について学び、どのような環境要素に適応した植物へ変化し最後は植相を迎える事を理解する。	ノート プリント テスト	○	○		
	B 遷移とバイオーム	14	なぜバイオームは地域で変わるの?	年平均気温、降水量の関係から形成されるバイオームについて理解を深める。	ノート プリント テスト	○	○		
2章 生態系と生物の多様性	生態系とその保全	15	炭素の流れに、人間は影響を与えているの? 地球温暖化ってなに? 外来種って何が悪いの?	生態系での生物の係わりと、生態系を脅かしている様々な事象について学ぶ。	ノート プリント レポート	○	○	○	
		16							
		17							

令和7年度 年間指導計画・評価計画

北海道網走南ヶ丘高等学校 定時制

教科	科目	単位数	実施学年	教科書(出版社)	副教材等	担当者
保健体育	体育	3単位	3学年	なし	なし	高原 大誠

科目名に○の付した科目は、学校設定科目です。

【身に付けて欲しい力】	各種の運動の合理的な実践を通して、運動技能を高め、運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるようにするとともに、体の調子を整え、体力の向上を図り、公正、協力、責任などの態度を育て、生涯を通じて継続的に運動できる資質や能力を育てる。
【学習の留意点】	・意欲的に学習に取り組もうとする態度を評価する。 ・運動不足の解消および体力の向上を目指す。 ・仲間と協力して取り組み、公正、協力、責任などの態度を身につける。

【評価の観点とその主な目標】
※評価を行う時は、単元、授業の前に「どのような力を求めるか? (基準)」と「どのようなレベルを求めるか? (規準)」を説明します。
評価の規準(どのようなレベルを求めるか?)
評価A 十分満足できる状況 評価B 概ね満足できる状況 評価C 努力を要する状況

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようになるため、運動の多様性や体力の必要性について理解しているとともに、それらの技能を身に付けている。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。	生涯にわたって継続して運動に親しむために、運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするとともに、健康・安全を確保している。

※評価の「観点」については、適宜各教科の指導要領に合わせて変更して下さい。

大単元	小単元	次	課題 (Q) (今時の問いかけ)	実施内容・目標	評価の方法	知	思	主	実施日	振り返り・次年度に向け
	オリエンテーション			授業の年間の見通しや意図を理解する。	提出課題	○	○			
	体づくり運動			・体づくりの運動 ・体力を高める運動	発問に対する返答 行動観察 技能 他の授業活動	○	○	○		
	陸上競技			・跳躍(走幅跳) ・投擲(砲丸投げ) ・競走(持久走・ハードル走・20mシャトルラン)	発問に対する返答 行動観察 技能 他の授業活動	○	○	○		
	ソフトボール			・キャッチボール ・打撃 ・守備 ・試合	発問に対する返答 行動観察 技能 他の授業活動	○	○	○		
	バドミントン			・ドライブ ・ハイクリア ・ドロップ ・ヘアピン ・ゲーム など	発問に対する返答 行動観察 技能 他の授業活動	○	○	○		
	サッカー			・パス ・ドリブル ・シュート ・ゲーム	発問に対する返答 行動観察 技能 他の授業活動	○	○	○		
	バレーボール			・アンダーハンドパス ・オーバーハンドパス ・サーブ ・スパイク ・ゲーム	発問に対する返答 行動観察 技能 他の授業活動	○	○	○		
	バスケットボール			・パス ・ドリブル ・シュート ・ゲーム	発問に対する返答 行動観察 技能 他の授業活動	○	○	○		
	ダンス			・現代的なリズムのダンス ・創作ダンス	発問に対する返答 行動観察 技能 他の授業活動	○	○	○		
	卓球			・ラリー ・サーブ ・ゲーム	発問に対する返答 行動観察 技能 他の授業活動	○	○	○		
	体育理論		スポーツの歴史、文化的特性や現代のスポーツの特徴について理解できるようにする。	・スポーツの歴史、文化的特性や現代のスポーツの特徴 ・運動やスポーツの効果的な学習の仕方 ・豊かなスポーツライフの設計の仕方	発問に対する返答 行動観察 プリント 他の授業活動	○	○	○		

令和7年度 年間指導計画・評価計画

北海道網走南ヶ丘高等学校 定時制

教科	科目	単位数	実施学年	教科書(出版社)	副教材等	担当者
外国語	論理・表現	2単位	3学年	New Favorite English Logic and Expression(東京書籍)	各種補助教材(印刷物)	鹿原真生

科目名に○の付した科目は、学校設定科目です。

【身に付けて欲しい力】	英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、聞くこと、話すこと、読むこと、書くことなどの基礎的な能力を養う。
【学習の留意点】	英語は言語であり、人と人とのコミュニケーションを図る手段である。人々とコミュニケーションを図るには英語を通じて理解し、知識や見聞を広めると同時に、自分の考えや意見を英語で表現し、発信することが大切である。日頃から相手の話をよく聞き、自分の考えを述べる習慣をつけ、積極的に異文化にふれることを心がけさせる。

【評価の観点とその主な目標】	
※評価を行う時は、単元・授業の前に「どのような力を求めるか？(基準)」と「どのようなレベルを求めるか？(規準)」を説明します。	
評価A 授業の目標に対し到達度が高度であり、特に優れている場合	評価B 授業の目標がおおむね達成されている場合(標準)
評価の規準(どのようなレベルを求めるか？)	評価C 授業の目標に対し、到達度が不十分である場合

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	・日常的な話題について、英語を聞いたり、読んだりして、情報や考えなど相手が伝えようとしていることを理解しているか。	・日常的な話題について、情報や考えなど伝えたいことを英語で話したり、書いたりして表現しているか。	・コミュニケーションに関心をもち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとしているか。

※評価の「観点」については、適宜各教科の指導要領に合わせて変更して下さい。

大単元	小単元	次	課題(Q)(今時の問いかけ)	実施内容・目標	評価の方法	知	思	主	実施日	振り返り・次年度に向け
ガイダンス	授業の進め方・評価方法などの説明							○		
Lesson1	Model		会話文に慣れよう。	・本文を読み、内容を理解する。	発問 行動観察 プリント	○				
	Expand Your English		食事に関わる会話文を学ぼう。	・友達を家に招待した設定で使える会話表現を身につける。	発問 行動観察 プリント			○		
	Make Your Own		タケルとメアリーとの会話を参考に、料理を食べて感想を言うRPをしてみよう。	・教科書を参考に、家に招待した友人に料理を振る舞うシチュエーションでの会話を行う。	発問 行動観察 プリント		○			
Lesson2	Model		道案内の英語を知ろう。	・本文を読み、内容を理解する。	発問 行動観察 プリント	○				
	Expand Your English		道案内や交通手段等に関わる英語を学ぼう。	・道案内や行き先の相談等で使える会話表現を身につける。	発問 行動観察 プリント			○		
	Make Your Own		道案内のRPをしてみよう。	・教科書を参考に、道に迷った人物に案内する会話を行う。	発問 行動観察 プリント		○			
Lesson3	Model		人物紹介の表現を知ろう。	・本文を読み、内容を理解する。	発問 行動観察 プリント	○				
	Expand Your English		人物紹介をする際に使える英語を学ぼう。	・人物紹介をする際に使える表現を身につける。	発問 行動観察 プリント			○		
	Make Your Own		家族や友人、知人等を他人に紹介してみよう。	・教科書を参考に、人物紹介を行う。	発問 行動観察 プリント		○			
Lesson4	Model		体調に関する表現を知ろう。	・本文を読み、内容を理解する。	発問 行動観察 プリント	○				
	Expand Your English		体調を伝える際に使える英語を学ぼう。	・体調を伝える際に使える英語表現を身につける。	発問 行動観察 プリント			○		
	Make Your Own		体調が悪くなった際に薬局でそれを伝えるRPをしてみよう。	・教科書を参考に、体調が悪くなったことを伝えるやりとりをする。	発問 行動観察 プリント		○			
Lesson5	Model		買い物に関する表現を知ろう。	・本文を読み、内容を理解する。	発問 行動観察 プリント	○				

[illegible]

令和7年度 年間指導計画・評価計画

北海道網走南ヶ丘高等学校 定時制

教科	科目	単位数	実施学年	教科書(出版社)	副教科等	担当者
商業	課題研究	2単位	3学年	なし	なし	畑藤 英羽

科目名に○の付した科目は、学校設定科目です。

【身に付けて欲しい力】	商業科目で身につけた技術と能力を総合的に活用できる能力と態度を育てる。
【学習の留意点】	・意欲的に授業に参加し、課題に取り組んでいる。 ・アプリケーションソフトの様々な機能を試して、デザインを工夫している。

【評価の観点とその主な目標】	
※評価を行う時は、単元、授業の前に「どのような方を求めるか? (基準)」と「どのようなレベルを求めるか? (規程)」を説明します。	
評価の規程(どのようなレベルを求めるか?)	評価A 授業の目標に対し到達度が高度であり、特に優れている場合 評価B 授業の目標がおおむね達成されている場合(標準) 評価C 授業の目標に対し、到達度が不十分である場合

観点	知識・技術	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	・アプリケーションソフトを利用したビジネスに必要な文書作成方法、諸計算の方法を正しく理解し身につけている。 ・商取引上の収益の計算ができる。	・自ら考え、接遇マナーを守った行動ができる。 ・他人に頼らないで、授業の進度におくれないう、適切な処理を行っている。	・課題研究の学習内容に関心をもち、自ら課題を設定し進んで学んでいる。 ・興味のあるところや理解のできにくいところについて積極的に取り組める。

※評価の「観点」については、適宜各教科の指導要領に合わせて変更して下さい。

大単元	小単元	次	課題(○)(今時の問いかけ)	実施内容・目標	評価の方法	知	思	主	実施日	振り返り・次年度に向け
ガイダンス	授業の受け方	1	課題研究では、どのような学習をするのだろうか。	課題研究の目標を理解し、学習に意欲的に取り組んでいる。	発問 観察 ワークシート	○				
	学習の心構えと職場マナー	2	学習するうえで必要な心構えや職場におけるマナーにはどんなものがあるだろう。	学習の目的を正しく理解し、正しい言葉遣いや良いマナーを身につける。	発問 観察 ワークシート		○			
文書処理Ⅰ	ビジネス文書作成①	3	ビジネスではどんな文書が交わされるのだろうか。	ビジネス文書の記入を正確・迅速・丁寧に処理することができる。	発問 観察 ワークシート			○		
	ビジネス文書作成②	4	見やすい文書とは、どんな文書だろう。	ビジネス文書の書式を理解し、正しく作成することができる。	発問 観察 ワークシート	○				
	ビジネス文書作成③	5	ビジネス文書に表や図を挿入してみよう。	ビジネス文書に様々な機能を利用して、デザインを工夫することができる。	発問 観察 ワークシート 小テスト	○				
文書処理Ⅱ	文書デザイン①	6	良いデザインの広告はどんなものだろう。身近な広告を参考にしてみよう。	文字を大きくしたり、太くしたりしてデザインを強調することができる。	発問 観察 ワークシート	○				
	文書デザイン②	7	Wordの図形機能を利用して、見やすいデザインを探してみよう。	図形を表示させ、図中に文字を表示させたり、色をつけたりすることができる。	発問 観察 ワークシート	○				
	文書デザイン③	8	特殊文字や塗りつぶし機能を用いて、デザインを作成してみよう。	題名や見出しなどに特殊文字機能を用いて見やすく加工することができる。	発問 観察 ワークシート 小テスト		○			
まとめ	自由課題	9	オリジナルの広告を作成してみよう。	自分で課題を見つけ、オリジナルの文書デザインを作成することができる。	発問 観察 ワークシート			○		